

【長崎県佐々町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿佐々町では、第三期教育振興基本計画の中で、「一人一人の可能性を伸ばす教育の推進」を行動指針に、GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒1人1台のタブレットや電子黒板、デジタル教科書を活用する教育環境の整備を行うことで、子どもたちが、将来、社会の変化に主体的に対応し、自立した生き方ができる資質・能力を身につけることを目指します。

2 GIGA第1期の総括

佐々町では、令和2年度に町内3校の児童生徒及び教師用のタブレット端末を購入し、タブレット端末が円滑に使用できるように端末の初期設定や既存ネットワーク機器の設定変更などICT環境構築を行ったほか、タブレット端末が校内で使用できるようLAN配線の一部更新やタブレット充電保管庫を整備しました。また、家庭にインターネット環境が整備されていない世帯への貸出用として、モバイルルーターを購入しました。

利用開始となる令和3年度には、ICT支援員の配置や安全にインターネットを活用できるようフィルタリングソフトを導入しました。

令和5年度にはネットワーク機器やLAN配線の更新を行いました。また、通信回線をより安定した法人向け専用回線に変更し、インターネット環境の改善を図りました。

このように、ICT教育環境の整備を進めてきた結果、授業では積極的にタブレット端末が活用されています。

3 1人1台端末の利活用方策

児童生徒が社会の変化に主体的に対応し、自立した生き方ができる資質・能力を育む取組として、ICT機器等をはじめとする教育環境整備を推進します。

(1) 1人1台端末の積極的活用

1人1台端末の積極的活用を図るために導入した学習支援ソフトを活用し、児童生徒が校内や家庭でも日常的な学習用具として活用していきます。また、教職員が授業で積極的に端末を活用できるようICT支援員についても、引き続き配置していきます。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

学習支援ソフトのほか、情報化社会に対応していける情報活用能力や情報モラル等を身につけるため、授業での調べ学習や総合学習などで活用していきます。また、学校や家庭での学習に児童生徒が自身の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組むことができるようAIドリル等の導入を検討していきます。

(3) 学びの保障

新たな授業スタイルの創出として、場所や時間にとらわれない学びの実現のため、欠席時におけるオンラインでの授業配信について、検討していきます。

以上の取組を実施するため、端末の整備及び更新を確実に実施することで、1人1台端末環境を引き続き維持していきます。